20___年___月___日生まれ

_____ちゃんの 0歳からの予防接種スケジュール

2016年度10月版

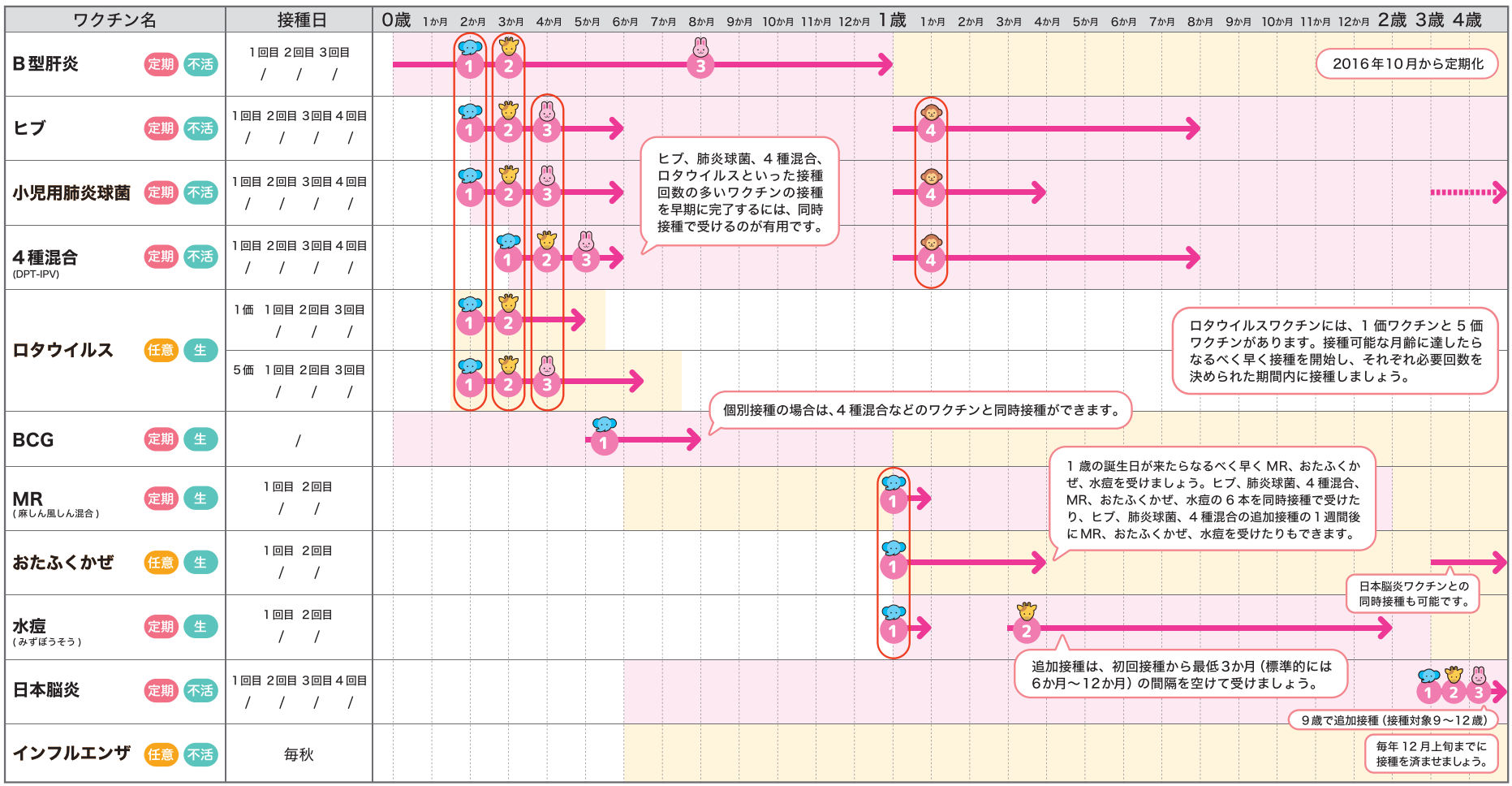
だから、予防接種

予防接種を受ける意義

病気に対する抵抗力（免疫）が非常に弱い子どもは、感染症から身を守らなければ、命が危険にさらされます。そのために最も有効な手段が、予防接種で免疫をつけることです。子どもたちの命を守るため、予防接種はきちんと受けましょう。

同時接種って？

1回に2種類以上のワクチンを同時に接種することを同時接種と言います。同時に接種してもワクチンの有効性に変わりがなく、副反応の頻度も変わらない場合、同時接種が可能です。条件に当てはまれば、一度に何本でも同時接種できます。



定期 定められた期間内で受ける場合は原則として公費負担。

任意 多くは自己負担。地域によっては公費助成があります。

定期接種の対象年齢

任意接種の対象年齢

生 生ワクチン

不活 不活化ワクチン

おすすめ接種時期と接種回数

同時接種

予防接種当日の準備・持ち物

当日は記入済みの予診票と母子健康手帳（母子手帳）を忘れずに持参しましょう。また、朝、自宅で体温を測り、発熱がないかどうか確認を。接種会場には、子どもの普段の様子をよく分かっている保護者が付き添ってください。

接種後はすぐに帰らない

ワクチン接種後はすぐに帰らず、接種会場や医療機関で30分程度、様子を見て、異常が見られないことを確認してから帰宅しましょう。重篤（じゅうとく）な副反応は接種直後に現れることが多いため、医師とすぐに連絡がとれる場所で待機してください。

監修：福島県立医科大学 小児科学講座 教授 細矢 光亮 先生